

A photograph of two young children in a rural setting. The child on the left is shirtless and smiling. The child on the right is wearing a striped sweater and is laughing with their eyes closed. The background shows a dirt path, some trees, and a blue sky with clouds.

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、
旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

Brali

Vol.15

Photo(C)Hiro



Khaosan Tokyo Guest House

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

日本で海外の気分を楽しめる！

カオサン東京ゲストハウスは、東京、京都、福岡、別府に計8つの店舗を展開しています。
国際交流をしたい！安く快適に泊まりたい！楽しくにぎやかに滞在したい方！
観光、就職活動、一人旅等、あらゆるお客様に満足していただける宿泊施設です。



TOKYO

NINJA

1泊/2200円～

ORIGINAL

1泊/2000円～

SAMURAI

1泊/2500円～

ANNEX & SMILE

1泊/2000円～

KABUKI

1泊/3000円～

KYOTO

1泊/2000円～

BEPPU

1泊/2000円～

FUKUOKA

1泊/2400円～

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

THIS IS YOUR BACKPACKER

旅人の数だけ違った

スタイルがあつていい。

LIFE.

これはあなたのバックパッカーライフです。

バックパッカーで旅をするって特別なことですか？あなたは旅バカですか？
もしアナタがクローゼットの中にあるバックパックに想いを馳せるなら「旅バカ」です。
苦楽を共にしてきた数々の相棒を捨てられずにいるなら、間違いなく「旅バカ」です。

残念なことにそれは **不治の病** です。一度目は衝撃の印度
2度目はうまくやれるナマステ 3度目はもう病気です！

バックパッカーの大好物, 最北端, 最南端, 最西端, 最東端, 赤道, 南北回帰線,
洞窟, 離島, そして僻地, 辺境, 秘境, 越境…

越境！ バックパッカーの妖しい与太話に散りばめられた真実、
そして名もなき旅人たちが残し受け継いできた、

数々のバックパッカー名言&格言。
「金の北米、女の南米、耐えてアフリカ、歴史のアジア、何もないのがヨーロッパ、

問題外のオセアニア」放浪 流浪 徘徊 ジブシー ノマド ボヘミアン etc...

行った国の数はそんなに大切なのか？ 世界一周って何ですか？ あのガイドブックの裏話。

J-Backpacker styleの系譜。

それは『何でも見てやろう』から始まった。結論のでないあの愛しきバックパッカー論の数々。

「日本人宿/ガイドブック/節約ビンボー旅/夜のパトロール」カニ族全盛期から時は刻まれ、

いまやバックパッカー3.0 爺ちゃんも両親も旅人の3世代目バックパッカー出現！

スマホ, Wi-Fi, LCC, ナチュラルボーン…デジタルネイティブで、ソーシャル・ヒッピーな

デジモンバックパッカーが闊歩する時代の到来。

こちら側の世界へようこそ。 **旅は変わっちまったのかい？**

バックパッカー新聞、旅の環境や手法が変わっても、やっぱり旅は人

との出逢いだ、やっぱり人が断然オモシロイ。

創刊です。 わたしたちは、そんなバックパッカー現役OB/OG、
そしてこれからバックパックを担いで旅に
出る仲間のベースキャンプになりたい。

Coming soon. 『バックパッカー新聞』 Published By Japan Backpackers Link 発行人 編集長 向井通浩

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

<広告>

「モロッコのグランド
キャニオン」と呼ばれ
るトドラ渓谷までのん
びり徒歩30分で行ける
日本人が経営するアッ
トホームな宿。
バルコニーからは一枚
岩が眺められ、手前の
畑にはアーモンドの
木々が見え春にはサ
クラのような花が咲き
花吹雪を楽しむことが
できる。

MAISON D'HOTE AMANDE CHEZ NORIKO

◆料金◆

宿泊代 70DH
朝食 20DH
夕食 50DH
洗濯機使用料 10DH

◆設備◆

部屋数4室
サロン
大きめのバルコニー
Wi-Fi
シャワー室・トイレ共同

日本食もO・K

家庭的な
小さな宿



◆住所・お問い合わせ◆

住所

Ait Ousalene Tizgui TINGHIR 45800 MARO

電話番号

+212(0)6 7040 4369

+212(0)6 5319 5219

モロッコ国内からは0653195219

E-MAIL

amande@hotmail.co.jp

詳しくはホームページで

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com>

MOROCCO
TODRA GORGE



<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

Instituto Cultural Oaxaca
El día de muertos 2013



<http://www.icomexico.com/jp/index.php>

メキシコ オアハカスペイン語語学学校

Oaxacaと死者の日

メキシコで毎年11月1日と2日に祝われる死者の日、Día de muertosはキリスト教とメキシコ先史伝統の融合の一例であり、メキシコで最もカラフルで由緒ある祝日の一つとして非常に有名です。死者の日はメキシコ全土で祝われますが、中でもオアハカは先祖の帰還を伝統的かつ華やかに祝うことで有名です。



2013年死者の日コース

当校では2013年、10月21日~11月の1日の2週間死者の日コースを開催致します。

この時期に合わせた特別な文化研修クラスも開講され、生徒様向けにパレードを開催し、死者の日のイベントにご自身も参加して頂ける様になっております。



<http://www.icomexico.com/jp/index.php>

様々なイベント

当校では死者の日コースの期間中、皆様に多くのことを体験して頂くため様々なイベントを企画しております。

コンパルサ、マスク作り

コンパルサとは死者の日の前夜祭に行われるパレードのことで、皆さん死者の日にちなんだマスクや仮装をしてメスカルを飲みながら街を飲み歩きます。当校でもこのパレードを開催し、生徒の皆様にはこの時期特別の文化研修、マスク作りでご自信オリジナルのマスクを作り、参加して頂けます。



オプションツアー

当校では毎年死者の日に彩られる集落を厳選してオプションツアーを開催しております。毎年在籍するほぼ全ての生徒様からご参加頂ける程の人気の当校の死者の日期間の目玉となっております。



皆様のご来校お待ちしております。お問い合わせは
info.jp@icomexico.com 八木までご連絡下さい。

<http://www.icomexico.com/jp/index.php>



Http://brali.net

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、
旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。

また旅に出てみることで、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。

旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのために旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験していない人へは追体験してもらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組みづくりを行ない Brali も社会に寄与します。

電子書籍

隔偶数月25日発行

記事・写真随時募集



ジースンになっても
バーサンになっても **旅** を続けるために

10月1日からリニューアルオープン！
就職お祝い金制度開始！



海外就職
あり

観光業も
あり

アジア
多数

バックパッカー専門の転職サイト

Bral Job

For Backpackers



旅に出ない理由、1. 金が無い 2. 時間がない 3. 帰国後仕事が無い
1番2番は何ともいたしがたいですが、3番目を解決すべくバック
パッカー専用の転職サイトを真面目にやっています。

バックパッカー 世界一周 求人広告

正社員 転職 海外就職

アルバイト 旅行・観光業

フリーアコモデーション 現地採用

世界初
日本発

Http://job.brali.net

<http://brali.net> <http://job.brali.net>

CONTENTS

- 旅人からの伝言 特集「カンボジア」
- カンボジアWIKI
- カンボジアTIPS
- カンボジアで暮らして
- 旅するように働く
- 旅先の変な日本語
- エッセイ「旅トキドキ・・・」
- テーマ「世界一周後の就職」
- 元求人広告営業マンが教える世界一周後の転職のヒント
- 大人の世界一周で必要な準備と、踏み出す決意
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 個人旅行のコモディティ「旅情報・旅ブログとインターネット」
- 連載ミャンマーレポート「一人旅卒業後、ミャンマー留学」
- 旅で使えるスマホアプリ「Jet Lag Rooster」
- 自炊派の手料理「サーモンの白ワイン蒸し」
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 作者・情報提供者一覧
- 編集後記
- 次号予告
- 記事募集

旅人からの伝言 カンボジア

Photo(C)Hiro



インドシナ半島で旅というとタイやベトナムへのツアーはよく組まれている。カンボジアはアンコールワットの観光資源を除くと一般的にはあまり人気がないようだ。まだまだクメール・ルージュや地雷のイメージが強いのだろうか？
そんなカンボジアをちょっと除いてみよう。



ウィキ予習

✓ あらまし

カンボジア王国（カンボジアおうこく）、通称カンボジア、正式名称は**ブレアリアチアナーチャックンブチア**は、インドシナ半島に位置する東南アジアの立憲君主制国家。東にベトナム、西にタイ、北にラオスと国境を接し、南は南シナ海に接する。国民の 90% 以上が国教と定められる仏教（上座部仏教）を奉ずるクメール人（カンボジア人）である。 **正式名称、覚えられへんがな**

✓ 人口

15,135,000 人（68 位） **インドシナ半島界隈ではかなり少ない方**

✓ 首都

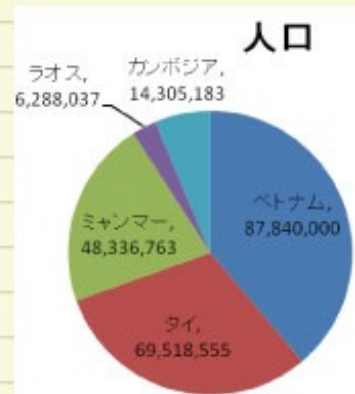
プノンペン **地名は首都とシエムリアップくらいしか覚えてへんな**

✓ 面積

181,035km²（87 位） **インドシナ半島では一番小さい**

✓ 公用語

クメール語 **発音がむっちゃ難しいらしい**



- ✓ カンボジアの子供達は母語であるクメール語の文字が読めないために誤って危険地帯に入ってしまうという問題があった。そのため日本地雷処理を支援する会（JMAS）などの日本のボランティア組織は、子供でも理解できるポスターを作ったり、わかりやすい地雷の標識を設置するなどの活動をしている。現在、地雷地域の処理が進んでおり、かつてに比べると各都市部は安全になった。しかしながら、地方部では西部タイ国境周辺以外での地雷処理は行われていない。 **こんなところでも日本人は頑張ってるで！**

- ✓ カンボジア製の衣類は日本にも 2000 年代以降多く輸出され始めている。例えば、ユニクロの子会社であるジーユーが販売している一本 990 円という低価格のジーンズなどがカンボジア製である。人件費の安さなどを武器とし、経済成長の緒に就いている。 **労働者がちゃんと報われてたらええけど・・・**

- ✓ 中国以上にカンボジアに影響力を拡大している韓国は、首都プノンペンに 42 階建ての高層ビルを建築し、プノンペン郊外に 20 億ドル規模の新興都市を建築中である。都市の名前は、カンボジア（CAM）と韓国（KO）の国名の頭文字を採って、**CAMKO CITY**と命名された。多くの韓国企業がカンボジアに進出するとあって、現在カンボジアでは韓国語ブームが起き、プノンペンだけで 17 の私立韓国語学校が存在する。 **韓国人多いな**

旅人からの伝言 Tips



TwitterなどのSNSでお題を投げかけ、お返事を集めて情報を並べました。
気になる Tips をチェックしてくださいね。

美味かった、ビックリした、ご飯、スイーツなど教えてください。



@Tensei__: クモ食べました！普通か…笑



@kento122: かぼちゃプリンかな？
かぼちゃまるまる1つ使用したプリンで前日までに予約して！って書いてありました ^^



@nktaryo_: 蛇をプノンペンで食べた。食感はとにかく固い。味は白身魚のように淡白な感じ。だが骨が多いので結構食べづらい。



@nktaryo_: 暗く見え難いけど、このような屋台が夜になるとプノンペンで出て来る。蛇だけでなく色んなゲテモノが売られている。

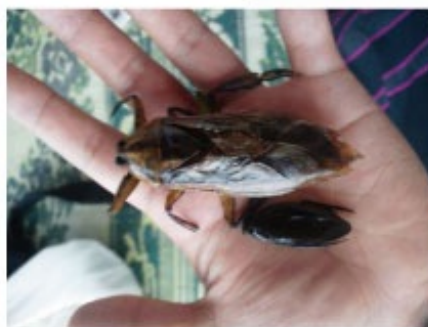
@nktaryo_: アモックかな。グリーンカレー(人によってはイエロー)だけど、タイのグリーンカレーと違い、インドカレーのようなドロドロしたカレー汁にグリーンカレーの味。



旅人からの伝言 Tips



@heroyattin: タガメとゲンゴロウ
食べました。
ゲンゴロウは甲皮部分をむしって取
り除き食べます (^o^;)



トラブルなどに遭遇した体験などありましたら教えてください。



@HiroyaGenki: iPad ひったくり

@ponn_kazuya: みんなでバレーを
やろうと思ったら、賭けバレーやって
怖かった(結局やりませんでしたけど)

はずせないスポット、面白いスポット、レアなスポットって？



@sachikoshima_: シェムリアップのおんぼろ遊園地にある超激しい怪我する
ゴーカート、西バライのハンモックがたくさんあるデートスポット、世界遺産
プレアヴィヒアの絶景、トンレサップ湖の夕陽、etc...



hideto.mitsuya

次回行きたいのはシェムリアップの北朝鮮レストランですね。

カンボジアで暮らして

カンボジアで暮らして



カンボジア……まさか自分がこの国で、2年間も過ごすことになるとは思ってもいなかった。

青年海外協力隊に合格し、決まった派遣国がカンボジアだったのだ。大学を卒業してから中国やインドなどアジアを中心に旅をしてきた。カンボジアにも勿論興味はあったが、まだ訪れたことは一度も無かった。知っていることは「アンコールワット」と「地雷」くらいだった。

出発前夜。いよいよ明日カンボジアに旅立つ。大学生の時、青年海外協力隊に行くことを一つの目標にし、あれから約9年。やっとその一步を踏み出せる。ここまでの道のりは長かった。

私の人生プランではもう少し早い時期に行く予定だったのが、人生そんなにうまくはいかない。何度も試験に落ちたが、諦めなくて本当に良かった。私が立てた目標の達成には時間がかかることが多い。しかし、何事も粘った者勝ちというか、やりきった者勝ちなのかなと思う。

はじめの1ヶ月は首都プノンペンで生活した。

この街に来て、最初に私は「なんと発展しているところなんだろう」と感じた。街は明るくにぎやか、人々には活気があり、たくさんの車、私の給料では買えないような高級車も走っている。日本と変わらないキレイなガソリンスタンドやコンビニ、スーパーマーケットなど、およそ開発途上国という言葉には当てはまらないような気がした。日本の私の地元よりもよっぽど人やモノで溢れていた。

ここで約1ヶ月間、クメール語の訓練をした。このクメール語が私にとっての最大の障壁だった。まったく文字として認識することができなかったのだ。模様にしかみえない。しかも発音が異様に難しい。聞き取れないし、発音できない。文法は単純で簡単なのだが、日本人には発音が難しすぎる。活動期間の前半1年間はこのクメール語が思うように話せず苦しんだ……。

クメール語はなかなかいただけなかったが、クメール料理の方はとっても美味しくいただいた。日本人の口に合う味付けのものが多いのだ。私のお気に入り、鶏肉の生姜炒め（サイモアンチャークニャイ）だ。そのほかにも、朝食の定番、クイティーウー（米麺）やバーイサイチュルーク（豚肉ご飯）などもよく食べた。（香草の入っている料理も多いので、苦手な人は抜いてもらった方が良さそう。）

ただ、半年間も毎日クメール料理を食べているとさすがに飽きてしまう。プノンペンやシェムリアップには外国人観光客や在住者がよく行く洋食屋さんや日本料理屋さんもたくさんある。日本の味が恋しくなったときには時々食べに行っていた。



クメール人は、とても人懐っこく優しい人が多い。困っていると助けてくれたりもする。ただプライドが高く、思ったことはすぐに口にするタイプが多い。だから時々ムカつくこともある。

私がカンボジアで一番良いな～と感じたのは彼らの笑顔である。素敵過ぎるのだ。大人でも子供のような無邪気な笑顔で接してくれる。

プノンペンやシェムリアップは観光地になっているので、外国人を相手に商売をしている人は多少スレてはいる。だが、可愛いもんである。お金も多少ぼったくってくるが、無茶苦茶な金額ではない。交渉すれば大きく値段を落としてくれる人もいる。

しかし中には危ない人もいる。

頻発している犯罪がひったくりやスリである。多くの外国人が狙われている。私の友人もひったくりの被害にあった。幸いにも私は一度も危険な思いをしたことがなかった。ラッキーだったと思う。値段の交渉中に何度か口喧嘩をすることはあったが.....。



私のこの国での活動は、小学校教員養成校で理科の実験指導を行うことだった。場所はバンティアイミンチェ州。シェムリアップから西に約100kmのところにある田舎町だ。ちいさな街だったが、生活に必要な最低限のものは全て手に入ったので、生活は苦ではなかった。

しかし、活動が軌道に乗るまでは、時間がかかった。最も大きな問題点は、私の思いと、その学校の先生の思いに大きなギャップがあったことだった。私は長年の夢であった青年海外協力隊に参加できたので、力になれることなら、どんどんやっていきたくかった。しかし、その学校で働いている先生はそこまでモチベーションが高いわけではなかった。「学校の教育を良くしていきたい.....でも、給料以上のことはしたくない」というような感じだった。

こんなことがあった。

雨期のある日のこと、その日は朝から雨が降っていた。

私はいつも通りに学校に行き教室をのぞいてみると、いるはずの先生がいない。いるのは生徒たちだけ。

「先生は来ていないの？」

と聞くと

「来ていないよ」

と答えてきた。

「なんで??」

さらに私が聞くと、

「雨が降って道が悪いから」

と答えてきた。

驚いた。雨が降ると授業に来ない先生がいるのだ。

確かにインフラが整備されていない道路も多く、雨が降ると通行できないようなところが多いのは事実だが.....。

日本人の感覚ではなかなか理解し難いことだった。

カンボジアの教育水準はかなり低い。学校の先生が小学校の教科書をしっかりと理解できていないことも珍しくない。だから、多くの学校で行われている授業スタイルは教科書を読み、それをノートに写す、だけである。考えさせるような活動はほぼ無い。だから子供達は発想力が乏しく、科学的に物事を考えたりすることが苦手である。

図で説明しようとしても図を理解してくれない。立体的に書くと何がどうなっているのか分からないようだった。図を立体的に把握する能力が低い人が多いと感じた。そういう能力を伸ばす教育を受けてきていないのだ。

日本の教育はそういう力を伸ばすようなシステムになっているんだと思う。小学校の図工は特にそういう意図があるのではないのかな。

教員の給料が低いことも大きな問題である。小学校の先生の初任給は50\$にも満たない。雨の

日に学校に来ない先生がいることもうなずける。私もそのような待遇だったら同じようにしているかもしれない。教員の給料だけでは食べていけないので、副業をして生計を立てている人が多い。この状態では教育水準を上げるのは難しいと感じた。

私は、カンボジアの先生たちが置かれているそのような状況を知った時に、今まで持っていた考え方が変わったように思う。技術協力で来ているので、自分一人で活動しても意味がない。先生たちが求めていることをしよう、私が帰国した後も彼らだけで活動し続けられるような事をしようと思った。

その後は、先生たちとの歩調も合い始め、共に協力し合いながら教育活動を行うことができた。最初は一人で行うことが多かった理科の実験準備にも、先生たちが協力してくれるようになった。

充実した日々だった。仮に私一人で活動をしていたら、こんなにも素晴らしい日々を過ごすことはできなかつただろう。彼らと共に過ごし、共に歩んだこの日々を私は一生忘れないだろう。



今後の活動について。

今後は日本の教育についてもっと勉強したいと思っている。カンボジアと同様に日本の教育にも改善点はあるはずなので、より良いものにするために尽力したい。そのためには自分自身の技術力の向上が必須なので、まずはそれらの向上に努めていこうと思っている。

また、第2の故郷となったカンボジアとのつながりを大切にしていきたいと思う。具体的に何をするかは未定だが、2年間様々なことを教えてくれたカンボジアの人々に恩返しをしたい。

定期的にカンボジアに行き、その後の学校の様子を見ていきたい。サポートできることがあれば、もちろんしていこうと思っている。



プロフィール

榎本良祐 31歳

大学時代に青年海外協力隊に興味を持ち、応募するも不合格。その後、何度か挑戦するが合格できず……。7年間、高校の理科教員として働く。その後、幸運にも青年海外協力隊に合格。2年間カンボジアで活動する。

活動中のブログ→ <http://enoenopenon.blog.fc2.com/>

旅するように働く



僕は旅が好きだ。どれくらい好きかと言うと、「旅するように働く」ことを人生のテーマにしてしまうくらい好きなのである。まだまだ理想には遠いけど、年間の半分近くを海外で働きながら、それも仕事内容はカンボジアでの教育と貧困支援として、過ごすことができるようになってきました。

今回はカンボジアでの活動とその魅力、そして旅をテーマにお伝えします。

そもそも旅のきっかけは『深夜特急』と『電波少年』という王道から始まりました。19歳でバックパックを背負いギリシャ・トルコを皮切りに、大学時代はバイトしてその金を旅に費やす生活を送るという、旅に冒された典型的な大学生でした。大学3年の時には海外ボランティアでカンボジアに行きました。26歳の時には1年かけて世界一周の新婚旅行に旅立つ始末。それもバンコクへの片道チケットだけで自由気ままに旅してきました。

旅を通じて見えてきたこと。それが現在の仕事に繋がっています。

世界には、夢を描けない、夢があっても実現できない、自分の可能性が限りなく0%の子供達がいきました。お金持ちや貧乏人がいるのは仕方ないと思っています。ただどんな環境に生まれても、誰もがチャンスは平等にあるべきです。

誰もが自分の可能性に挑戦できる社会を作りたい、「可能性0%を1%に変える」そんな思いから、2年半前にNPO法人HEROという団体を立ち上げ、現在までにカンボジアに無料で通える小学校を5ヶ所建設してきました。

活動を通じて農村部に入り込んでいると色々な問題が見えてきます。昨年から目の当たりにしてきたのは、極度の貧困の現状でした。僕たちが作った学校は公立の学校として運営しているので、もちろん授業料は無料。ただ、それでも通えない子供達が出てきたのです。その家庭を訪問して現状を確認してきました。結論から言うと、貧困が原因でした。1日1ドル以下で生活している家庭の子供達は学校に通えないのです。

よく言われているのが、貧しいので子供達が強制的に働かされているといった内容。ただ現実とは違います。大人に仕事が無いのに、子供に有る訳がありません。子供達は学校に通わずに毎日、食べられる葉っぱや魚を探して、その日一日を何とか生き延びている状況でした。

現在、その貧困の状況を改善すべくマイクロファイナンスならぬ「マイクロ養豚」事業を立ち上げ、今年から開始する予定です。この事業案は横浜ビジネスグランプリのソーシャルビジネス部門でファイナル3組まで選ばれました。

まだまだ立ち上げたばかりのベンチャーNPOですが、少しずつ実績もできてきて、寄付金も増えてきて、そして念願の「旅するように働く」ライフスタイルにも近付いてきました。

ただ日本で会社員として働くよりも正直大変です。実績作りを優先しているので、報酬は取ってないですし、最初の立ち上げの時にはかなりの金額を自己負担しました。活動を始めて2年半の間にデング熱に2回かかり、1回は重症化し死にかけました。この前も酔っぱらったロシア人と大げんかして大変でした。

そもそも、カンボジアの学校作りに寄付してくださる会社や社長さんなんてそうそういませんし。結構有名な会社に寄付金のお願いに行ったら「橋本君の夢にお金払う人なんていないよ」と一蹴される始末。

それでも旅するように働ける魅力に勝るものはありません。一緒に活動しているメンバーは一生の仲間ですし、まだまだ人数は少ないながらも、こんなベンチャーNPOと付き合ってください社長さんは人間的に素晴らしく、どなたも成功されている方ばかりです。そして現地ではどんどん友人ができてきます。

そんな最高な人たちに囲まれて仕事ができるなんて、もう止められません。



世界を旅してきた人が帰国して小さくなっている例をよく見かけます。もったいない。

常識になんて縛られずに世界に飛び出しましょうよ！

就職先が、仕事が、お金が、家族が、子どもが、全部言い訳です。僕は結婚して、子どもが産まれて、そしてますます自由になってきています。

旅好きの方なら分かってくれるはず。自分で自由に世界中好きな場所に行けて、それが現地の人の役に立つ仕事になっていて、共感してくれる仲間とドンチャン騒ぎしながら活動する魅力。それが実現できるなら、自分のお金がもらえなくても（逆に少し持ち出しがあっても）、治療薬の無い病気になっても、死にかけても、そこに向かう価値があることを。

一度きりの人生です。ワクワクする世界に躊躇せず飛び込みましょう！

そんな人がどんどん世界に飛び出して、世界中で活動している。そんな素敵な社会を実現したいと思っています。

ちなみに来年の2月から6校目の学校建設を開始します。興味がある方は一緒にカンボジアで学校建設を行いましょう！ お気軽に連絡ください！！



橋本博司

特定非営利活動法人HERO 代表理事

東京都八王子市出身、35歳O型、人生のテーマは『旅するように働く』

大学時代にカンボジアに行き、そこで子どもたちに勉強を教えてほしいとせがまれた経験からカンボジアに学校を作ることを決意する。23歳で飲食店を経営(現在2店舗)。その後、1年間の世界一周新婚旅行に旅立つ。新卒採用の仕事を経て、2011年2月NPO法人HEROを立ち上げカンボジアに子どもたちが無料で通える学校を現在までに5ヶ所建設。現在はカンボジアで学校建設の他に貧困対策事業としてマイクロファイナンスならぬ、マイクロ養豚事業を開始。

<http://npo-hero.org/>

日本語



旅先の

海外でみかける変な日本語。看板やメニューをはじめ、商品名やTシャツ、チラシに至るまで。笑わせてくれたり、困惑させられたり。そんな変な日本語をTwitterなどで募集してみました。



もう日本人向け製品かと思う
ほど日本語多用ですね。

ラオス Photo By Hiro

変



罰金ポイントマッサージポイントー！どうやら毛穴汚れを除去するブラシのようですが・・・。ラオス Photo by Hiro

変



「持てなく下さい！」
「いざこざを避けるためにお金をチャックで下さい。」
どう伝えたかったのだろう？ 中国 Photo By Hiro

エッセイ「旅トキドキ・・・」

エッセイ「旅トキドキ・・・」



鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84（100M）
美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

前回から引き続き、働いている人に的を絞ってみました。



ミャンマー、バガン。

玉ねぎの皮を飛ばしている所。



インド、プシュカル。

インドの神様、シバ神にコスプレしてる男の子。

観光客に写真を撮らせ、お金を稼いでいる。写真1枚、5ルピー(8円)程。

ちなみにインドの神、シバ神。

この神様はマリファナを吸うとされ、インドやネパールではマリファナは比較的、黙認されています。

マリファナに対しては、日本の法律は執拗に厳しい。反発が出るのがわかる気がする。

アメリカのどこかの州はマリファナを合法にしたよね。オランダでは、喫茶店でマリファナが吸えて、職務終わりの警官も吸ってる。

まあ.....俺はタバコを吸えないのでマリファナは吸えないし興味ありませんが。 笑



インド、デリー。

すごい量の揚げ物。

後ろにも山積みです。これ絶対にさばききれないし、古いやつも絶対にある。

買うなら揚げたてを狙わないとすぐに下痢になります。そして、接客という概念はインドでは無かったです。



ミャンマー、インレー湖。

積みすぎー。沈むぞー！



ミャンマー、インレー湖。

家を建ててる所。皆一度は湖に落ちたことあるはず。



インド、ジャイサルメール。

砂漠に住むオールドガイ。笛を演奏して、毎日百円～2百円を稼ぐ。この後日が沈むと.....彼は『バーイー』と言って砂漠の中に消えていった。



インド、プシュカル。

俺の前に来て勝手に演奏を始めた彼。

写真を撮ってしまった時点で俺の負け。やはりお金を請求されたのでポケットの中の小銭を渡しました。

でも荒野で聞くこの音色は、とても心に響いた。



ミャンマー、インレー。

50円ほどの料理をつくってくれる彼女。

屋台は、安くて雰囲気があって俺は大好き。



インド、スピティ、カザ。

インドの中のチベット、スピティの中で一番大きな町カザの、一番しっかりしてる店の厨房。
ちなみにカザの町には3件しかレストランが無くて、夕方4時半にはすべての店が閉まります。
(12月)



日本。

若い男女が一緒に働いている。

イスラム圏じゃ見なかった光景。違和感が.....。



マレーシア、ティオマン島。

積荷を運ぶ男たち。

俺が2回も行ってしまった島。小さい島で俺は好き。



ミャンマー、インレー。

ミャンマーはこないだまで鎖国状態だったので独自の文化が残っている国。

鎖国って.....日本だと黒船に乗ったペルーが来る前!?

とりあえずタイ周辺の国の中ではミャンマーが群を抜いてオススメです。



インド、デリー。

修理している青年。メチャこっち見てる。

まだまだ続く

元求人広告営業マンが教える世界一周後の転職のヒント

元求人広告営業マンが教える世界一周後の転職のヒント

世界一周をしようと思った時に必ず考えるだろう、帰国後の仕事のこと。

そうなんです。一度社会の道から外れてしまうと、なかなかの風当たりな日本。まあ、不安に思うのは当たり前です。

かくいう僕もご多分に洩れず、旅前や旅終盤では帰国後のことが気になっていた。一般的に、世界一周をしようと思ったら、最低でも半年は必要と言われる。半年って.....。

まあ日本の常識から考えれば、仕事をしながらの旅は無理ですね。

実際に旅していて出会った人々の就業状況はというと、無職の比率は、9割弱(学生は除く)。9割弱か。そう、実は10割じゃない。1割強の人は、在職中にも関わらず旅をしていたんです!!

【1割の内訳】

- ・3ヶ月以上の長期休暇(休職手続き)をもらった人(なかには1年間の休職期間をGETした人も)
- ・クリエイター、フリーランス系(写真家、グラフィックデザイナー、音楽家など)
- ・自身が経営者もしくは経営陣

僕は、当初から会社を辞めての世界一周しか考えていなかったが、やりようによっては離職しなくても世界一周ってできるんだな、と今回の旅で感じた。

とは言っても上記の人々は少数派。普通は辞めざるを得ないですね。

世界一周を終えた仲間たちのその後の動向をみると、元の職場に戻ったり、旅の経験を活かしてゲストハウスやBarを設立したり、全く異業種に転職したり.....。元の職場に戻る人が多いのは、専門職の人(看護師・薬剤師、美容師など)や長く同じ企業で勤めた人。まあ専門職の人は、転職するにしても狭い業界なので、だったら元の職場で、という人が多いそう。

僕の場合はというと、転職組です。

元々営業職をやっており、次も営業職なので同職種ではあるものの、業界は全くの未経験。

まあ、コツコツ頑張らんとね。

今回、ご紹介したいのは、もちろんこの転職組の転職活動術。

専門職や世界一周後に何か創りたいという想いを持って旅した人は、帰国後の仕事についてはそんなに悩まないだろう。ただ、そうではない人々は、ネットの求人や人材紹介会社などを通して、自分の興味のある仕事や面白そうな仕事を見つけて、その会社の選考を受けるのが一般的。僕も今回この一連の転職活動をし、内定を頂いたわけだが、活動をする際に気をつけたいこと、こういう人はこうした方が良くないなど、気付いたことがあるので、それを僕なりの見解で伝えられればと思う。

それでは、いよいよ実践的なお話へ。※僕の個人的な見解も多いので、あくまでも参考程度にお考えください。

まず一般的に、転職活動の方法として主に考えられるのは、以下5つ。※正社員雇用の場合

- ①求人広告(転職サイトやフリーペーパー、新聞折込)を使用した活動
- ②人材紹介会社(リクルートエージェント、インテリジェンス、JACなど)を利用した活動
- ③企業のHPなどから直接企業に応募する活動
- ④知り合いや自身のコネクションを用いた活動
- ⑤ハローワーク

メリット、デメリットはそれぞれにある。

- ①求人広告(転職サイトやフリーペーパー、新聞折込)を使用した活動

メリット：

- ・案件が多い。
- ・気軽に登録したり、応募したり出来る。
- ・販売やサービス、事務系職種に強い。
- ・未経験可のロースペック求人が多い。
- ・大量募集に強く、緊急度の高い求人が多い。

デメリット：

- ・現在の買い手市場による影響で、求職者からの応募が集まるため、選考通過率が低い。
- ・クローズ(非公開)求人が多くなっている昨今、特にミドル～ハイスペック層の求人が少ない。
- ・広告という手法を用いるため、採用コスト(確実性)を重視する外資系や専門職に弱い。
- ・広告(記事内容)による影響力が強い。

- ②人材紹介会社を利用した活動

メリット：

- ・公開求人を嫌う企業の情報が多く、専門性の高い職種も多い。
- ・企業担当、転職者担当がサポートしてくれるため、企業の求人比較や自分の棚卸しに役立つ。
- ・人材紹介会社の担当へのアピール次第では、選考通過率を上げることができる。

デメリット：

- ・自分(転職者)が担当してもらう人(人材紹介会社側の担当)によって、内容に差が出てしまう。
- ・何度か人材紹介会社のオフィスに行かなければならないため、手間(登録や打ち合わせなど)がかかる。

- ③企業のHPなどから直接企業に応募する活動

メリット：

- ・大々的でない場合に限るが、応募者の母数が少ないため、選考に通過しやすい。

デメリット：

- ・社名や職種、業界など、かなり絞った検索が必要。
- ・常時ネットに求人を掲載している企業も多いので、緊急性がない場合があり、注意が必要。

- ④知り合いや自身のコネクションを用いた活動

メリット：

- ・事前にコネクションを持って選考に望むことが出来る。
- ・知り合いや自身の過去の実績により、後押ししてもらえる(事ができる)。

デメリット：

- ・ 転職活動するにあたり、分母が小さい。
- ・ 入社後もコネクションが続く(良い意味でも、悪い意味でも)。

⑤ハローワーク

メリット：

- ・ 地元の企業や中小企業に強く、職種的には事務や技術職(現場作業員)に強い。
- ・ 国による運営のため、転職者はもちろん、企業も利用は無料。

デメリット：

- ・ 求人票に記載される就職先（雰囲気や人となり）の情報量が乏しい。

転職者側からみるとこんな感じだと思うが、ちょっと視点を変えて企業側の視点でみてみよう

。

企業側が採用活動する中で、重要視するのはⅠ応募者の量、Ⅱ転職者の質、Ⅲ採用コストである。ここで、注目したいのがⅢ。

経済状況が芳しくない昨今、企業としては採用コストを下げたいという思いが絶対ある。そこで、各手法の採用コストを比較してみよう。

まず①の求人広告は、企業が広告料として前金で支払うため、採用有無に関わらず料金が発生する。広告の料金は、ツールや記事の大きさ、期間にもよるが、だいたい10～150万円(転職サイトの場合)。

次に②の人材紹介会社では、転職者が入社してから初めて料金を支払う、成功報酬制をとっている。成功報酬の額は、大体年収の30%ほど(年収500万円の人なら約150万円)。

もちろん③④⑤については、採用コストという面では無料である。ということで企業側は、大量募集や人気のある職種(採用単価の低い職種)、ロースペックの求人には①求人広告を、ハイスペックや専門職の採用のように、確実性を重視したい求人には②人材紹介会社を用いることが多い

。

以上のことを踏まえると、実際の転職活動について、こんなことが見えてくる。

例えば、9～17時の事務職種やショップの店員募集を探す場合には、①求人広告を用いた方がよい。

自分の適性を一緒に考えたり、過去の経験を活かした仕事を見つけたい場合には、②人材紹介会社を。

すでにやりたい仕事明確であり、いきたい会社(業界)も決まっている場合には③企業のHPへ

。

そしてもちろんコネクションを持っている人は、転職活動において何より強いものなので、それを活かす④へ。

とりあえずという場合は⑤へ。

まあ、一概にこれに全部当てはまるとは言えないが、全くの見当違いではないだろう。

さて、ここまで転職活動の方法を一通り書いてきたが、ここからはいよいよ世界一周をした人

に特化したお話。

世界一周をした人が転職活動時、一番ネックになるのが『離職期間』。

まあ、旅の期間が長いので当たり前のことです。

転職業界では、一般的に離職期間は長ければ長いほうが再就職には不向きである。日本らしい考え方ではあるが、“離職期間が長い”=“社会への不適合者”と考えることが多く、企業側はどうしてもマイナスのイメージで転職者を見てしまう。（これは、ワーホリや留学も一緒のことが言える。）

企業や職種にもよるが、離職期間は大きく分けて3ヶ月、6ヶ月という2つの区切りでみており、それ以上期間が空いている人は、余程の経歴が無い限り、書類選考で落とされる可能性が高い。

買い手市場である昨今、応募者多数により書類選考を行う企業がほとんど。もちろん細かい職務内容にも目を通すとは思いますが、最初の選考段階で一番見られるのは、①年齢、②職務経歴、③離職期間。人事や書類選考する人が、足切りをする際に見るポイントである。

※老舗企業なのかベンチャーなのか、大企業なのか中小企業なのか、職種や業種によってその度合いは変化。

たとえ、その人が世界一周をどんな想いで成し遂げ、それをいかに今後の人生に活かそうと思ったとしても、アピールする場がなければ意味がない。

ということで、世界一周経験者や長期離職期間の人にとっての最初の課題は“書類選考通過すること”。

もちろんこれに必勝法なんてものはないが、少なくともその確率を上げることはできるので、誰にでもできる簡単な方法を2つご紹介(2つ目が大事)!!

《一、履歴書・職務経歴書はリアルに書け》

もちろん、個人の経験職種や応募する職種・業界によってアピールの仕方は変わるが、履歴書・職務経歴書の書き方次第で、書類の通過率は大きく変わってくる。

例えば営業職の場合、よく実績や達成をアピールする人がいるが、これは数字の裏づけがないと意味がない。

ただ達成しました、表彰されましたではなく、目標いくらのうち、達成額がいくらで、達成率は何%なのか。

そして重要なのは、良かったときだけではなく、悪かったとき(未達)のものも書くこと。これは、特に通期(年度)の数字を書くときに必要なことで、ないと印象を悪くするときもある。あとできれば、営業面で工夫したこと、どうやって営業目標を達成させたのか、逆に数字が悪かったときは、それをどう挽回したかなどを、営業数字とリンクさせるとよい。

履歴書・職務経歴書は、一度書いてしまえばフォーマットとなるので、なるべく時間をかけ、しっかりとしたものを作ることをおススメする。

初転職者や職種・業界によるアピール方法が分からない人は、人材紹介会社を利用するとよい。

人材紹介会社は人材の斡旋はもちろんのこと、履歴書・職務経歴書の添削や模擬面接をしてく

れる会社も多い。その人材紹介会社で転職活動をするかしないかは別として、まずはこういったサービスを使うのも一つの手だろう。

もちろん転職希望者に費用はかからない。

《二、人材紹介会社の営業を通して書類選考通過率をアップさせる方法》

一般的に書類選考の可否については、転職者は何も口出しできない。ただし、人材紹介会社の営業を通すと、その実は変わってくる。

人材紹介会社の営業は、企業の経営陣や人事の責任者と深い関係を持っており、企業がどんな経歴を持ち、どんな性格を持つ人が欲しいのか、ソフト・ハード面共に把握している。そのため、レジュメ上はどうあれ、『こんな人ならぜひ紹介したい』という考えを持っている。例えば、学歴や職歴がちょっと足りないけど、この人なら企業の要望に合うのではないかな？

離職期間が長いため、通常の書類選考では落ちてしまうが、この人は会ってもらえれば可能性があるのでは？

人材紹介会社の営業にそうしてもらえれば、転職者としてはしてやったり。

企業側に深く入り込んでいる人材紹介会社の営業だから出来るプッシュというのがあり、僕はこの方法で志望業界の書類選考を、実際には離職期間ではじかれていたにも関わらず、全て突破できた。

ということでまず転職者は、志望する職種や業種を決め、人材紹介会社の営業にそれをアピール。

積極的な自己アピールから、この人なら可能性があるのでは？ と思わせ、自分を企業にプッシュしてもらおう。もちろん人材紹介会社の営業も、良い人を紹介しなければ企業からの信頼を失ってしまうし、逆に紹介できなければ商売にもならないので、転職者の自己アピールを真摯に受け止めてくれるだろう。

ちなみに、人材紹介会社の営業には企業側の営業と転職者側の営業があり、大手3社でいうと、リクルートエージェントとインテリジェンスは、営業は分担制、JACは企業側と転職者側の両方を一人の営業が受け持っている。

その他にも人材紹介会社はたくさんあり、専門分野に特化していたり、若者に特化していたり、外資系に特化していたりと様々あるので、自分の適性や志望職種・業界によって変えると良い。

※僕の個人的な感想としては、企業側と転職者側の両方を一人の営業が受け持っている方が、企業と転職者のマッチング精度が高く、転職者をプッシュしてくれる可能性が高いと感じた。

分担制の場合には、企業側と転職側の営業の距離感が大事で、近ければ近いほうが◎。

※もちろん、書類選考通過後の面接可否・採用可否は、自分次第です。

さて、ここまで転職活動の方法や書類選考通過率アップの方法を書いてきたが、世界一周後の転職活動においての面接以降のテクニックは、ぶっちゃけない。

一般的な面接対策と同じで、いかに自分を上手くアピール出来るかによる。

面接で話をする際に大事なものは、以下の5つ。

①論理性／まずは結論から言う。

②具体性／理由・背景、実体験・実績を具体的に。

③簡潔性／面接の時間は短いので、必要な情報を絞ってアピールする。※しゃべりすぎに注意。

④一貫性／転職で実現させたいことに一貫性を持たせる。

⑤自主性／企業に質問する際も、まずは自分の考えを伝えてから、面接官の意見を仰ぐ。

上記の5つの中で、世界一周後の転職活動において大事なのは④の一貫性。一貫性とは実現したいことに対し、理由・動機・強みなどを一つの道筋として結びつけることであり、その一貫性の中に世界一周の経験やその経験を通して何を実現したいのかを上手く組み込みたい。

世界一周の経験を転職活動や今後のキャリアビジョンにリンクさせるのはなかなか難しいが、コミュニケーション能力なり、行動力なり、実行力なりを自分の言葉でアピールできると良いだろう。

世界一周に関して、面接で主に聞かれる質問(面接の場でアピールすべき点)は以下3つ。

- ・なぜ世界一周をしようと思ったのか／動機
- ・世界一周を通して何を学んだのか／経験
- ・世界一周の経験をどのようにうちの企業(職種、事業)で活かしたいのか／ビジョン

そして、企業側が一番気にする点(懸念点)としては、またすぐどこかに行ってしまうのではないかと。ということ。

まあ、そう思われても仕方ないよね。

世界一周旅行者にとって共通しているのは、やりたいことを実現してきたということ。

良く言えば、行動力があるということだし、逆に悪く言おうと思えば、いくらでもできる。

まあ、世の中の事柄は全て裏表なので、考え方次第ではあるが、なにより重要なのは“後悔していない”ということをしっかり断言できること。

世界一周者にとって、この言葉は愚問かもしれないが、この熱意を持ってさえいれば、転職活動への想いや今後の人生にかける想いも説得力のあるものになるだろう。

ということで、ここまでHow to的なことを書いてきたが、最後は精神論。

みなさん、ぜひ後悔のない人生を。

Paku

20代

高校生からの夢だった世界一周に、2010年4月～2011年7月まで行ってきました。

現地の情報を旅ノートの的にブログでまとめているので、ぜひ遊びに来てください。

※現地の交通機関や宿情報も満載です。

<http://ameblo.jp/tsukanet-1115/>

大人の世界一周で必要な準備と、踏み出す決意

大人の世界一周で必要な準備と、踏み出す決意

『一生に一度はしてみたい世界一周』『夢のまた夢の世界一周』だった頃とは違い、現在は旅の情報がインターネットでいくらでも手に入るし、LCCの台頭によって航空券も安くなり、世界一周航空券なるものも発売され、海外の生活費は日本のそれに比べて低い。昔に比べると比較的簡単に、手軽に世界一周ができるのではないだろうか。

現に世界一周をしてみると、驚くほど多くの日本人に出会う。私が世界一周をしていた2～3年前には、20代30代の働き盛りの社会人や大学生、中には60歳を超えた年配の方、高校生まで様々な年代の旅人がいた。

しかし、かねてからの私の友人には世界一周をしたことのある人は殆どいないし、帰国後に世界一周の話をするとうるせられるし羨ましがられる。本当は身近でありながら、そう簡単には踏み出せないのも現実なのだろう。

私は2009年の大晦日に、32歳で約2年間の世界一周に旅立った。どのようなルートにしようか、危険地域はどこか、何を持っていこうか、世界一周旅行に向けて様々な準備はしていたが、最後まで心配で気がかりだったのは、帰国後の就職のことだった。35歳以降の転職活動は、企業の選考基準も厳しくなると思い、32歳の時に慌てて世界一周に飛び出した。自分に一生仕事をしなくても食べていける程の貯蓄があったり、後先考えずに行動できる性格ならすることのない心配だったと思うが、現実問題非常に大きく頭を悩ませていたのだ。

帰国後、私はありがたいことに、出発前に一度退職した会社に戻り、人材採用などの人事の仕事をしているので、企業の人事担当者として世界一周後の就職活動や転職活動などの就職について簡単に記したいと思う。

まず、就職活動ということにおいては大学生の時に世界を旅することはお勧めする。長期旅行をする時間的制約が少ないし、親を説得し休学して旅をしている学生さんには多く出会った。また就職活動を通じて世界を旅した体験を生き生きと語ってくれる学生も少なくないし、そこで起こった出来事や、価値観を変えたエピソードを話すことで、学生も行動力や、トラブルが起こった時の対応力などアピールしやすい。

※ただ、あくまでも「就職活動において」であり、私は社会人になって社会を知ってから世界一周するのを推奨する派である。

次に、手に職を持っている人も、あまり心配はしなくてよいのではないだろうか。これは「旅人あるある」だが、旅をしていると出会う職業で一番多いのは看護師だと思う。次に料理人（シェフ）、美容師、たまに公認会計士や税理士などにも出会う。

ちなみに、2年も旅をしていると幾度となく自炊をしたりするのだが、シェフと出会って旅をしていると毎日の料理が格段に美味しくなり、さらに料理のレパートリーが増えてとても気分が

踊る……という話をしていると長くなるので割愛するが、手に職を持っている旅人は比較的帰国後すぐに再就職をしている印象が強い。生死に関わり非常にストレスを抱えやすい看護師という職業だからということもあると思うが、常に人手が足りない業界でもある。そんな事情で再就職がしやすく、旅には気軽に行きやすいのであろう。

そして一番踏み出し難いのが20代～30代の社会人であろう。何しろ、苦勞して就職した企業を退職し、働き盛りのキャリアに穴を空けるのだ。20代前半であれば、第二新卒枠として採用基準もそこまで高くないだろうが、20代後半以降はかなりシビアに選考される。面接官の採用基準からしても、旅中に語学が堪能になり現地人ともビジネス会話ができるレベルにでもなれば別だと思うが、一般的に世界一周旅行経験そのものがプラスの評価に結びつくことは少ない。中途採用に一番求められるのは、即戦力として活躍できるかどうかであり、企業に利益をもたらすことができる人材かどうかなのだ。

昔から自分の人生を考え、世界一周することを組み込んだキャリアプランを作っている人もいると思うが、帰国した時に就きたい職業で必要とされるような実績を出発前に作っておく、帰国した時に声が掛かるようなコネクションを作っておく、又は、あまり将来の職業に対してのイメージが湧かないのであれば、現在の仕事で圧倒的なバリューを出しアピール要素を作っておく、という準備が必要なのである。ブランクが帳消しになるアピールをしっかりと準備しておくのだ。

その為には、大企業であろうとベンチャー企業であろうと、成長環境に身をおいて自分自身が自立することが大切だと私は思う。たとえ誰もが知っている大企業に勤めていたとしても、日常の業務に一生懸命にもならず、言われた事だけをこなすようになり、思考が停滞し、ただただ時間だけが過ぎていくのを待っている人材が、さらに海外放浪で数ヶ月～数年のブランクを空けて転職活動をしてきても、人事としては全く魅力を感じない。

大企業には、若いうちから裁量を持って活躍する場が少ないという問題もあるかもしれないが、ベンチャー企業であれば事業の責任者をしていたり、20代でマネジメント経験がある人も少なくないし、圧倒的な仕事量と実績を出してきた人も多い。しっかりと出発前に実力を付けている人にはチャンスが転がっているだろうし、帰国しても期待され就職に困らない人材だと私は思っている。

まだまだ書きたいことはあるのだが最後に。

「世界一周後の就職」というテーマでまあ偉そうなことを書いてしまったが、私の旅友達の中には帰国後、自分で起業したり、カフェやシェアハウスをオープンして、就職という選択をしていない人もいる。旅の途中で趣味を見つけてそれを仕事にしている友人もいる。

決して就職することだけが正解ではないし、独立だって一つの選択、人それぞれだ。一度は帰国後のことを考えておくという準備が必要なのだと思う。

Brali読者の皆さんの中に、一生懸命仕事に取り組んでいるにも関わらず、世界一周に憧れているけど帰国後の仕事のことが心配すぎて世界一周に行くことができない、という方がいるのであれば、それはモッタイナイと思うし、案ずるよりも産むが易し、心配している時間があるなら早く出発したほうがよい。その一步を踏み出す決意をすることで、あなた自身に勇気と行動力とい

うチカラが備わるのだから。

岡部 能直

36歳

世界の絶景や世界遺産を中心に旅を続ける旅人。32歳から約2年間の世界一周。七大陸制覇の経験を生かし、インターネット企業の人事をしながら世界各国についての旅コラムを執筆中。

旅のトラブル

旅のトラブル

儀：前回までは数回にわたってインドの話で盛り上がってましたね。

功：実際にインドに滞在してるときは「なんじゃこの国は！二度と来てやるかこのやろう！」ぐらいぶち切れそうになることは1日に38回ぐらいはあったのですが、いざインドを離れてみると何か物足りない気持ちになってしまう。

儀：なんだかんだ振り返ってみて一番話が盛り上がるのがインド。インドについて話すとネタがつきません。

功：なぜだか、もう一回インド行ってみてもいいかなあ、と思ってしまう今日この頃です。

儀：僕にいたっては、インドの弦楽器のシタールを習っちゃってますから。不思議な魅力のある国ですね。

功：……田澤さん、着実にあなたの頭はインド人化してきていますねえ。

儀：さて、インドの話はきりがありませんが、いよいよ旅も終盤にさしかかろうかというところですので、このあたりで、みんなによく質問される「自転車旅の途中たいへんなトラブルとかはなかったの？」という質問にお答えしていきましょう。

儀：自転車旅は基本的にはとても楽しい！いい人にも出会い、うまい飯食って、きれいな景色見て、旅では楽しいことたくさんあります。

功：でも、やっぱり旅にトラブルはつきもの。

儀：トラブル……ありましたね、いろいろと（笑）。

功：まあ。まずは想像に難くない自転車関係のトラブル。

儀：やっぱ道もひどいし、ばんばんぶっ壊れまくってたいへんだったんだこれが！

功：……というのが普通でしょうが、なんとなんと、トラブルというトラブルはほんのわずか。組んでくれた自転車屋さんが凄腕ってのもありますがね。

儀：こーすけがトライアスロンの大会の度にチャリのメンテナンスをお願いしてる凄腕チャリ屋のSさんですね。

功：本人は言われるのを恥ずかしがるけど、あんな少ない資金と少ない時間でパーツ選んで組んでくれた彼の腕は間違いないです。

儀：パンクすら1回しかしてないという（笑）。タイヤに関してはPnaracerさんに支援していただいたタイヤが相当タフだったからでしょうね。さすがにカザフスタンの砂漠の中の果てしないオフロードではビリッとタイヤが裂けましたが。無理もない。



(荷台が壊れて当然と思えるくらいの積載量)

功：でもやはり積んでる荷物が50キロ近くあるもので、荷台周りは壊れたりしましたね。その辺の工具屋さんで売ってるような金具で直せるようなトラブルだったのでなんとか大丈夫でしたが。

儀：でも、二台とも荷台と自転車のフレームの接続部分から折れてしまったことがあって、あればっかりは地元の溶接屋さんに頼んで直してもらったね。オレはインドで。



(カザフスタンにて荷台の応急処置)

功：僕はウズベキスタン。町の工場でちょちょいっとね。やり方雑だったけど（笑）。

儀：そういう意味では荷台もフレームもクロモリで正解でした。どんな途上国でも鉄の溶接はできる。でも、アルミってなるとなかなかできる所は少ない。クロモリのチョイス正解でした。

功：あとは、ATMにカード食われたりなんてことも（笑）。

儀：ありましたね。なぜか、僕のキャッシュカードが二回も（笑）。日本じゃあり得ないけど、ATMがぶっ壊れてるってことは結構ありますから。勘弁してほしいですよ。

功：結局、すぐに手続きして次に立ち寄る都市に日本から新しいカード送ってもらって受け取ることができたけどね。

儀：いろいろトラブルはありましたが、実際一番困ったのはビザ。これは自転車に限らず、バックパッカーのみなさんはよくあるお馴染みのトラブルですかね。

功：そうですね。ビザ取りで足止めってのもよくあること。場所によっては全然約束守らなかったり、追い返されたり。こっちが強気でかからないと出してくれなかったりしますからね。イランビザは300キロ先のお隣の領事館までバスで往復させられたあげく結局取れなかった。だから、ルート変更してイランを通らずに行くことになったしね。

儀：いやいや、ビザ取りは毎回試練でしたね。

功：あと、よく人に聞かれたりするのが「コミュニケーションはどうしてたの？」って質問。

儀：これは.....ねえ？（笑）

功：気持ちですよ、気持ち（笑）。

儀：結局英語通じるとこなんてほとんどありませんでしたし。僕ら通るところってほとんどローカルな場所なんで。

功：僕らが気持ちのこもった日本語で話し、あちらが気持ちのこもった現地語で返してくる。これが基本スタイル（笑）。

儀：こっちが一所懸命伝えようとすれば聞こうとしてくれるし、こっちも一生懸命分かってもらうとなんとか分かんんです。そのうちに、これってこういう意味の言葉なのかなって予想できたりするようになるしね。不思議と。



(スペインの田舎町のパーティーで、言葉が通じないのに1日中大盛り上がり)

功：でも、挨拶と数字とかはあらかじめ調べて覚えておいたね。挨拶だけでも現地語ですると一気に打ち解けられるから。

儀：というわけで、なんだかんだ、どうしようもないようなおっきいトラブルってのはありませんでしたね。準備もしっかりしてたし、運良かったってのもあるけど。

功：細かいトラブルなんかは行ってしまうばなんとかなる、もんだよね？（笑）

儀：なんとかしようと思えばなんとかなるってのもあるけど（笑）。いやいや、ホントに運が良かったんですよ。神様ありがとう。

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文＆写真

Connection of the Children

<http://coccoccoc.web.fc2.com>

<http://ad-f.sakura.ne.jp/html/coc/cal/>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

個人旅行のコモディティ

こんにちは。現在「世界2周目」、ウズベキスタン・ヒヴァにて原稿を書いています。大谷です。

長期旅行をされていてよく考えさせられる「旅情報・旅ブログとインターネット」についてお話しします。

「旅ブログに沿って」ルートを考える旅人に昨今良く会います。良い悪いかは別として、一昔前の「地球の歩き方に沿って」旅をする人達と似たようなものでしょうか。

前提として、私も旅ブログを書いていますし、旅ブログを参考にして旅をすることもあります。

そのため、他人の事は言えないかもしれません。しかし、気になる事が多々有りますので書かせていただきます。

長期旅行者・バックパッカーで賑わう定番宿。世界には多々あります。

あまたの旅人が集まり、情報を交換し合い、友達になる。素敵な空間です。

そこがインターネットの普及に伴い変化している事は、他メディアでも言われています。

例えば、

- ・新しく宿に到着した旅人が最初に見かける光景は、公共スペースでまるでオフィスワークをしているかのようにPCやタブレットに向き合う旅人達。

- ・最初の会話が「あっ、どこかでお会いした事ありません？ あのブログランキング上位の◎さんですよ？」。

- ・旅情報は旅人同士で交換ではなく旅人同士で「使える旅ブログ」のURLを交換する。後は宿付属のフリー-WIFIで確認する。

こんな感じでしょうか。

もっばらこの頃良く聞くフレーズがこちら。

「旅ブログに行き方が書いてないのでどうやって行けば良いか分からない」というものです。私みたいな人間は「現地の人に聞けば良い」と考えてしまうのですが、時代遅れでしょうか。

もちろん「効率よく旅したい」「なるべく安く旅したい」という気持ちはよく分かります。時間・予算には限りがありますからね。

しかし、ある程度「未知数」な情報があったほうが旅って面白くなるのでは？ と私は思うのです。

よく「パッケージ旅行は何もかも決められていて自由が無いからつまらない」という意見を聞きます。

旅ブログで全ての情報を集め、旅ブログに沿って旅するのはガイドがWEBサイトに変わったただけな気がしてなりません。

先日こんな出来事が有りました。タジキスタンのゴルノ・バダフシャン自治州の州都ホログで

の話です。

ある国の旅人にパミール高原の情報をお伝えすると、すぐさまこんなご意見をいただきました。

「君はどこからその情報を仕入れたの？ WEBサイトには載っていないよね？」

「旅ブログにも載っていない。だからあまり信用できない」

正直驚きました。

「旅ブログに載っていないので信用できない」

なんですか？ これは。自分が現地の方から仕入れた情報よりも、WEBサイトの方を重要視する。現代人の特徴でしょうか？

もし私が仕入れた現地情報をブログにアップしたら「信頼できる」情報になるのですかね。

いやはや驚きました。

私の考えはこうです。

別に旅ブログを完全に否定していません。WEBの情報はあくまでもWEBの情報であり、最新情報は自分の足で集めます。正しい情報を手に入れるために多くの方に話しかけたり、振り返れば笑えるようなトラブルに遭ったりと苦労は有るかと思います。

しかし、そういった苦労もまた旅の醍醐味ではないかな？ と私は思うのです。

かつて私も「地球の歩き方どおり」に旅をした事があります。モデルコース通りにです。それは最近の「旅ブログどおり」に旅をする事に置き換えることができるでしょう。

振り返ると確かに「有名観光地に訪れた」という記憶は残っていますが、それまでの道中の雰囲気、街並、等々なかなか思い出せません。公共バスの混沌さ、新市街と旧市街の活気の違い、思い出せないのです。

「個人旅行型パッケージツアー」に参加しただけですから仕方が有りませんね。

そんな個人的な後悔も含めて今回の記事を書かせていただきました。

私は多くの旅人に「後悔」をしてほしくないと願っています。せっかくのバックパッカー旅、個人自由旅行をより充実させてほしいのです。

「昔行ったけど、良く覚えていない」では寂しすぎますからね。

それでは、私はこの後中央アジアを抜け、コーカサスへと向かいます。

二度と出来ない旅、一生後悔しない旅、が私のテーマです。

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。
旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheelie](https://twitter.com/taniwheelie)

連載ミャンマーレポート「一人旅卒業後、ミャンマー留学」



yukkichalk

ビール+鯖+笑い=Happyな東京人。

教師→パリスト→看板描き→OL後、毎年訪問でハマリすぎたミャンマーに留学中。

<http://blog.goo.ne.jp/yukkichalk>

日本の生活を捨て、ここヤンゴンでの生活が10ヶ月を過ぎました。

不安とワクワクとほんのちょっとの自信で乗り込んできたミャンマー。UFL（ヤンゴン外国語大学）のミャンマー語学科に留学し、現地の大学生と一緒にピックアップで通学。

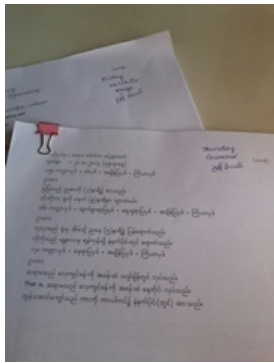
家賃12万チャット（約1万2千円／月）で、エアコンはじめ洗濯機以外は何も無い部屋に住み、週に4回ほどプールバー（ビリヤード）でアルバイト。基本月給は、ミャンマー人と同じ5万チャット（約5千円）で、お客さんからいただくお酒とチップが生活費となり、大学の友人と遊びに行く……。あの頃の夢は、『冷蔵庫を買うこと』だった（笑）。

日本での貯金を崩せば、最初からもっとイイ生活は送れたけど、この国で自分は何もできない人間だということを忘れたくはなかった。

お店ではシンガポール人やマレーシア人に、学校では日本人や韓国人に「ミャンマーで働きたい!!!」

と言い続け、口約束のようなオファーだけは沢山いただきました。

お酒を飲む仕事に体力の限界が見え始めたころ、就職が決定し、3月から大学と仕事の両立が始まりました。後期が始まる6月には日本への出張があり、このあたりから大学へはほとんど行けなくなってしまった。残念だけど、留学が最終目標ではなかったので仕方ない。優しいクラスメートがテスト用にノートをくれ、9月末に一応大学は卒業できました。



バスに乗れば座ってる乗客が荷物を持ってくれたり、信号がない交差点で頑張ってる交通整理の人に、車の中から飲み物を差し入れしたり.....大都会ヤンゴンでもよく見かけます。

旅行で初めて訪れた２００８年。あの時には、シュエタゴンパゴダにATMが設置されるなんて想像もできなかった。



最近では結婚相談所のようなものもできたんです。



“Love is the key to understanding.”“あなたの結婚相手は、あなたの人生くらい大事です。”って書いてあります。ミャンマーというか、ヤンゴンの流れは本当に早いです。外国人の私でも思うこと、よくあります。

「なぜ、ミャンマーなんですか？」

仕事柄、多くの日本人の方々にお会いし聞かれること。

「好きなんです、ミャンマー人が。あったかいんですねー、ミャンマー人って」

そう答えてたのは、だいぶ昔のように感じます。

４年連続旅行に来て見ていたミャンマーはほんの一部で、真剣に向き合うからこそ見えた部分が沢山あります。一緒に勉強してみて、仕事してみて、デートしてみて、諦めも苛立ちもけっこうあります。ヤンゴンですら、育った東京と笑えるくらいに何もかも違いますから!!

海外就職についての記事で『修行地に適している国』のひとつにミャンマーが入っていたことも納得できます。滞在歴が長い方に

「ミャンマー人は、B型が多いんだよ」

となだめられたこともあります。高級ホテルも、けっこうな適当さですね。



一生懸命やってますアピールも、視界が狭すぎてずーっと同じことやっちゃうところも嫌いじゃないです。This is Myanmar!! 日々、この修行の地で鍛えていただいています。

もう１０ヶ月。まだ１０ヶ月。自分が描いていたよりもはるかに濃かったです。今の目標は『ミャンマー語でガツンと言えるようになる事』。感謝の気持ちも、ゴメンって時も、怒りも、日本語を話すように、自分の感情を乗せて伝えたい。それが、外国でお世話になっている人間として、まずできなきゃな！ と。

タクシーの中から輝くシュエタゴオン・パゴダを眺め『もうちょっと頑張ろう』そう思う毎日です。そして本当に大都会に疲れたら、夢の田舎生活を求めミャンマーの奥地へ行けたらいいな。そんなこと考えながら、まだまだ修行の身です。



３４歳ミャンマー留学。日本に帰る家ナシ。冬服も靴も捨て、全荷物を持ちミャンマーへ旅立ったあの日。『全日空の直行便で、しかも会社の費用で日本に帰るのが夢』そう言ってた私の夢がまた叶います。ミャンマードリームも、なかなかいいですよ。



昨年のミャンマー特集で採用していただき、留学を機に連載の機会をいただきありがとうございます。素人連載にお付き合いいただいたみなさまにも感謝です。少しでもミャンマーに興味を持てただけなら、嬉しいです。

これから観光シーズン到来のミャンマー。ぜひ、その目で最後のフロンティアを覗きにきてください。

今日からまたミャンマーサンダル履いて、ロンジー着て、ココで修行がんばります。今後は、いつかブログで……。チェーズーティンバーデー!!

旅で使えるスマホアプリ

旅で使えるスマホアプリ

文字通り旅で使えるスマートフォンのアプリの紹介です。昨今ではスマートフォンやタブレットがバックパッカーの間でも普及し、旅の途中も離せない人が増加中。旅を助けてくれる、旅をもっと面白くしてくれるアプリを紹介していきます。



旅のアプリ紹介 『Jet Lag Rooster』

旅でつらいのが時差ボケです。

せっかくの旅先での観光が楽しめない。

帰国後の仕事がつらい。

など、時差ボケのことを考えると、旅行のテンションが下がります。

そんなときに活用したいアプリが『Jet Lag Rooster』です。直訳すると『時差ぼけ にわとり』です。

一言で言うと、時差ボケの影響を抑える睡眠スケジュールを教えてくれるアプリです。

出発地・出発時間と到着地・到着時間、さらに普段の睡眠時間帯、いつから時間調整をするか(到着後or飛行機搭乗後or出発数日前)の項目を入力することで、最適な睡眠計画を教えてくれます。

ちょっと伝わりにくいと思うので、例を挙げます。

・出発：2013年10月20日12時 成田発

・到着：2013年10月21日12時 ペルー(リマ)着

・通常の睡眠時間：0時から7時

・時差ぼけ調整：出発数日前から

結果、このようになります。(一部省略しています)



10:28

10月12, 2013



ABOUT | All Day Planner | Download to iPhone

10月17日まで

(通常の生活パターンなので省略)

10月18日

1時就寝

8時起床

8-9時 光を避ける

23-2時 光を浴びる

10月19日

2時 就寝

9時 起床

9-10時 光を避ける

10月20日

0-3時 光を浴びる

3時 就寝

10時 起床

10-11時 光を避ける

12時 出発 (22時にタイマーをセット)

16-19時 光を浴びる

19-22時 光を避ける

10月21日

12時 ペルー(リマ)到着

17-20時 光を浴びる

20-23時 光を避ける

10月22日

0時 就寝

7時 起床

(以降、現地時間で日本と同じ睡眠時間での生活なので省略)

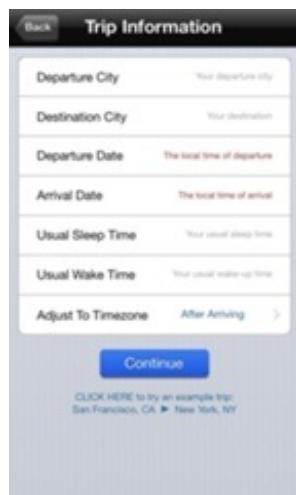
この通りに、行動すれば時差ぼけの影響が少なくなるのです！

「光を浴びる」「光を避ける」などのアドバイスが効果的なようです。

特に、フライト中の「22時にタイマーをセットする」が実用的なのではないかと思います。

これだけで終わらないのがこのアプリ！

結果が出た後に「Set Alarms」ボタンを押しておけば、その時間にアラームで知らせてくれるという機能が付いています。これで間違いなく、時差ぼけの影響は少なくなり、旅のテンションが高くなります。



さてさてこのアプリ、なんと無料です。(日本語未対応ですが)

海外旅行に行く予定の人は、すぐに以下のサイトからダウンロードしましょう！

■App Store

<https://itunes.apple.com/us/app/jet-lag-rooster/id669338639>

■Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.sleepcoach.jetlagrooster>



Enjoy Your Travel!

ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカーをしています。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.15まで15連続記事掲載・写真提供。

自炊派の手料理「サーモンの白ワイン蒸し」

自炊派の手料理「サーモンの白ワイン蒸し」

旅に出たら現地の料理を食すに限る。でも物価の高い街での長めの滞在となると、さすがに外食ばかりはフトコロに堪える。そんな時は自炊。簡単で安くて美味しい自炊派の手料理をご紹介します。

「サーモンの白ワイン蒸し」 2人分

世界には魚のおいしい国もたくさんあります。いくら新鮮でも生のままではちょっと不安……。そんな時、おすすめの食べ方です。シンプルな味付けなので、魚本来の味も楽しめますよ。

材料

- サーモン.....一切れ
- 人参.....半分
- しめじ.....半パック
- レモン.....一つ
- バジル.....少々
- 白ワイン.....大さじ5杯
- 塩&コショウ.....少々
- バター.....少々
- ニンニク.....2〜3片
- オリーブオイル...少々



作り方

- ①サーモンに塩コショウをまんべんなくまぶし5分ほど味をしみ込ませます。
- ②フライパンにオリーブオイルを入れ、ニンニクを入れてからサーモンを強火で少し色がつくまで両面焼きます。
- ③しめじ、人参を入れてから白ワインを入れて蓋をして弱火にします。
- ④3〜5分したらサーモンに火が通っているか確認して、塩コショウで味を整えてから盛りつけます。
- ⑤最後にバター、バジル、レモンを盛りつければ完成です。



淡白な魚なら色々な魚に代用が出来るので、旅中に現地の市場で見つけた魚を調理してみるのも面白いかも。

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

エッセイたびたべ ～秋だ！サンマだ！寄生虫だ！～

秋だ！サンマだ！寄生虫だ！



沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

ヘタクソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

いよいよ秋である。

秋の味覚といえばやっぱり何と言ってもサンマだ。

そう、誰が何を言おうと秋の味覚の王道はサンマであり、これを否定しちゃう輩なんかには、この野郎表に出ろッ！なんて言いたくなっちゃうくらい秋のサンマは美味しい。

僕がアメリカにいた時に、秋に日本料理屋でサンマを食べれた(方々探し回ったので「食べた」でなく「食べれた」の方が正しい)時は感動さえ覚えたものだ。

まあ～苦労しました.....アメリカにある日本料理屋にも色々ありまして、日本人の経営してる日本料理屋、中国、韓国の方がしてる日本料理屋、そして、東南アジアや米国人のされている日本料理屋がある。

問題はここの最後の「似非」日本料理屋で、サンマの塩焼き定食を頼んだら、どう見ても.....

メ ザ シ 定 食

が、出てきたときは店をぶっ壊してやろうかと思いましたよ.....ええ。

そんなこんなで、夢にまで見た秋のサンマ、脂ののったサンマ！

大根おろしに醤油をちょっと垂らし、おもむろにそのおろしとサンマのほぐし身を口に入れたら思わず「むふふ」なんて頬が緩んできちゃうのだ。

次に(多分)大根おろし効果で胃液が分泌され強烈な空腹感を覚えた俺は茶碗をひっ掴み、猛烈かつ決して上品とは言えない食べ方で飯とサンマを胃袋に詰め込む。

幾度目かのお代わりを終え満腹になり、頭と骨と尻尾だけになったサンマを見ると「秋はやっぱりサンマだね～～」ってセリフが自然と出てくる……

つう訳で秋はやっぱりサンマだと思う(しつこいけど)。

最近コンビニですら立派なサンマー尾が入ったサンマ弁当を売ってて、もちろん僕も食べたけど、少し気になったのは綺麗に内臓が抜かれてあった事。

僕は今は大好きだけど子供の頃はサンマの内臓は苦くてぬめぬめして気持ち悪くて大っ嫌いだった。

20代後半ぐらいから内臓を食べて、その微妙な苦味が美味いと感じるようになった時は嬉しさより「ああ、俺もオヤジになったのかな」なんて思っちゃったくらいだ。

んでコンビニのサンマだが、内臓が抜いてあるのは人によって好き嫌いがあるのと、あとサンマの内臓にはたまに寄生虫がいるからかな？ と思った。

たまーに内臓に赤く小さなミミズみたいな寄生虫が……。

まあアレは本当に気持ち悪い。

完全無欠のサンマに欠点があるとすればコイツだろう。

昔、目黒にある世界中の寄生虫に関する博物館である「目黒寄生虫館」って所に行った時、その館長さんにサンマの寄生虫について質問した事がある。

館長さんは何故か嬉しそうに、うひひと笑いながら話してくれた。

「ああー、アレね！ 大丈夫ですアレは胃液で溶けちゃうから、大丈夫。たま～にね、サンマの缶詰に入ってたクレームになっちゃうんですよね！ でーも大丈夫！ 人体には無害です、胃で溶けちゃうから！ ひっひっひ」

溶けるか溶けないかの問題でも無い気もするが、館長さんからそれを聞いてから余り気にしなくなったから、まあ結果オーライってところかな。

秋になると思い出すサンマの味と目黒寄生虫館館長の笑い声。

以上、なんだかとりとめなくなったけど秋のサンマの思い出。

秋はやっぱりサンマですね～～(だからしつこいって！)

Chibirock

Sigur RosとBeirut最頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>



ヒンドゥーの聖地と言われるプシュカル、遠目から眺めると美しい街である。

しかしここはインド。

下界を歩けば、他の街と同様、2分に一回物売りから、

「コーリア？ ジャパン？」

→「ジャパン」と返答

→「トキョ？ オオサカ？」

→この辺でめんどくさくなってシカト

まるでプログラミングされてるかの如く同じ問いかけ。ドラクエでいつも同じ所にいる人がいつも同じ言葉を発するのと同じ現象。まあ、わかります。話のとっかかり&売り方の戦略の切り替えという部分で、最適な質問だと思います。

だけど、日に十回も同じこと聞かれ続けると、それが無害な問いかけであったところで、苦痛を感じるようになってくる。これはアメリカ辺りで、自白させるためにメタリカの同じ曲を延々聴かせ続けるのと同じような作用があると思う。わかった、言うからもうメタリカやめてメガデスにして、みたいな。

ということで次回以降は、「チョンコリア」とでも答えて、何それ新しい国?? と混乱させて楽しんでみようと思う。

さてここでちょっと前の街の話をします。

西の果てにてラクダでへとへとになった後、皆と別れて通称「ブルーシティ」というジョードプルという街に降り立った。その名の通り、青い建物が多くひしめいている街。のはず、だが、



実際言うほど青くない。

が、観光地の割には比較的観光客にサラっとしてて、たまたま入った宿もものすごい高い位置にテレビがあること以外問題無く、インドにしてはストレスはあまり感じないところだった。

この目玉はこのメヘランガル砦。

歴史的建築物にはさほど興味はなかったが、上から街を見たいという理由でとりあえず行ってみることにした。

想像を上回る長さの坂道を登りに登っていたらあんまりにも疲れたので、途中で宿屋のカフェに入った。



サバサバした感じの女将に迎えられ、何となく勧められたヘナを腕にほどこしてもらいつつ、以前、歩き方に良くない評判が載ってから客足がだいぶ減った、と語られた。客の勘違いの投稿だったと言う。そのたった1人の思いひとつで、何人かの人生が大きく変わるんだから恐ろしいな、なんてぼんやりしてると、手がきれいな柄で埋まった。ここのおかんはいい人だよ、と、歩き方に反論しよ

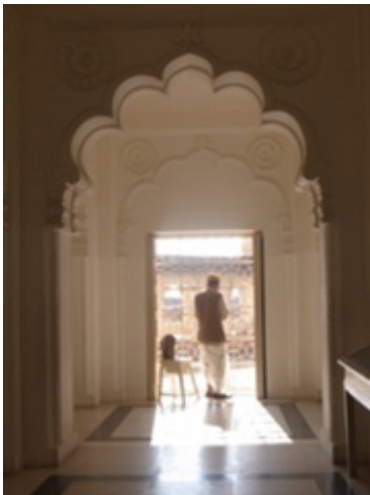
うとしたが、もう宿の名前を忘れた。ごめんおかん。



ようやく着いたこの砦。これが思いのほか、楽しかったんだよ。



なんか妙にキレイなまま保存されてるし



エアインディアのマスコットみたいな人が案内してくれるし（無料）



くさりかたびらとかせいどうのたてとかせいなるナイフとかドラゴンキラーとかいかづちの

杖（以上全てイメージ）……ドラクエの世界そのままじゃないか！

入場料高かったが行ってよかった。

ちなみに後日、ダークナイト・ライジングを観た際、おやなんかここ行ったことあるだろうと思った乾いた風景が、この砦だった。それだけ絵になるところなのである。

さて、これを書いている今、滞在中のプシュカルに話は戻しまして。

ここにはイスラエル人をはじめとする長期滞在旅行者も多くいるらしい。彼ら目当てにオシャレなカフェやバーなども多くひしめいているが、一応聖地なので、ギラギラズンドコはしていない。この程度が丁度いいのであろう。ファンでもなんでもないが、物珍しさだけで行ってみたピンク・フロイド・カフェは、全然プログレ感のない、屋上席が超居心地の良い静かな穴場で、ウッカリ2時間近くぼんやりしてしまった。



ところで、常日頃不思議なのが、店が流行るとすぐ隣とかにそっくりな店を建てる人たち。（ジャイプルのラッシー屋、インド各地にある、ドイツパンどころかパン自体無いジャーマンベーカーリー等）



ヘブライ語の看板からもうかがえるように、イスラエル人に大人気のナンロールの店、2店。真似するのはまだいい。まだいいが、なんだって隣に開く？

両方食べた訳でもないからどっちが美味しいのかも知らないが、うちが先だとか後だとか、なんとか権とか、なんかそういう面倒な諍いは起きないのだろうか。常日頃、インドはめんどくせー国だと思っているが、こういう日本ではケンケンうるさく言われるような状況下で、なんかうまいことやっていることは称賛に値する。

いいじゃん、両方人気なんだから、両方儲かって。

そりゃ、そうだな。

作者・情報提供者一覧

【作者・情報提供者一覧】

表紙写真・旅人からの伝言中表紙写真

Hiro

旅人からの伝言 特集カンボジア

榎本良祐

大学時代に青年海外協力隊に興味を持ち、応募するも不合格。その後、何度か挑戦するが合格できず……。7年間、高校の理科教員として働く。その後、幸運にも青年海外協力隊に合格。2年間カンボジアで活動する。

活動中のブログ→ <http://enoenopenon.blog.fc2.com/>

旅人からの伝言 特集カンボジア

橋本博司

特定非営利活動法人HERO 代表理事

東京都八王子市出身、35歳O型、人生のテーマは『旅するように働く』

大学時代にカンボジアに行き、そこで子どもたちに勉強を教えてほしいとせがまれた経験からカンボジアに学校を作ることを決意する。23歳で飲食店を経営(現在2店舗)。その後、1年間の世界一周新婚旅行に旅立つ。新卒採用の仕事を経て、2011年2月NPO法人HEROを立ち上げカンボジアに子どもたちが無料で通える学校を現在までに5ヶ所建設。現在はカンボジアで学校建設の他に貧困対策事業としてマイクロファイナンスならぬ、マイクロ養豚事業を開始。

<http://npo-hero.org/>

エッセイ 旅ときどき・・・ 本文&写真

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84（100M）
美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

テーマ「世界一周後の就職」 本文

Paku

高校生からの夢だった世界一周に、2010年4月～2011年7月まで行ってきました。

現地の情報を旅ノートの的にブログでまとめているので、ぜひ遊びに来てください。

※現地の交通機関や宿情報も満載です

<http://ameblo.jp/tsukanet-1115/>

テーマ「世界一周後の就職」 本文

岡部 能直

世界の絶景や世界遺産を中心に旅を続ける旅人。32歳から約2年間の世界一周。七大陸制覇の経験を生かし、インターネット企業の人事をしながら世界各国についての旅コラムを執筆中。

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文&写真

Connection of the Children

<http://coccoccoc.web.fc2.com>

<http://ad-f.sakura.ne.jp/html/coc/cal/>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

個人旅行のコモディティ 本文

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheellie](https://twitter.com/taniwheellie)

一人旅卒業後、ミャンマー留学 本文&写真

yukkichalk

ビール+鯖+笑い=Happyな東京人。

教師→バリスタ→看板描き→OL後、毎年訪問でハマリすぎたミャンマーに留学中。

<http://blog.goo.ne.jp/yukkichalk>

旅で使えるスマホアプリ 本文

ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカーをしています。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.15まで15連続記事掲載・写真提供。

自炊派の手料理 本文＆写真

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

エッセイたびたべ 本文＆写真

沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

ヘタクソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

アジア漂流日記 本文＆写真

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

【協力】

向井通浩

JAPAN BACKPACKERS LINK 代表・運営管理者。「ハニートラップ研究所」所長。タイマッサージ依存症。ホワイト餃子。バックパッカー新聞編集長。

<http://backpackers-link.com>

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

小田奉路

海外起業家's EGG主宰

<http://worldsegg.com/>

<http://archive.mag2.com/0001295311/index.html>

【広告】

カオサン東京ゲストハウス

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

Maison D'hote Amande chez noriko

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

Instituto Cultural Oaxaca

<http://www.icomexico.com/jp/index.php>

【編集後記 Fistera】

やっと秋がやってきたって感じですね。今年は暑かったようで台風も少々多めで。先日は「神戸で世界一周てくてく」という在住外国人文化を探訪するイベントを開催しました。神戸にある中国寺やモスク、インドのシク教やゴスペルを歌ったりするキリスト教会などの宗教施設を周って礼拝などを見学したり参加したり。またインド食品店やハラル食品店で買い物したり、最後はジャマイカ料理店で打ち上げ。色んな国の人の話を挟みつつ。意外と身近で世界を感じることができます。また折を見てやろうと思ってます。

<https://www.facebook.com/teku2kobe>

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○旅イベントや旅ブログなど旅に関する新情報や更新情報をビジュアルで告知するサイト

<http://event.brali.net/>

そして、Facebookページもやってます！ぜひとも「いいね！」してください。Twitterとは別の情報も掲載してますので。

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

さらには！NAVERまとめで旅に関することもまとめてますので、見てくださいね。

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

Brali Bizからセミナーを始める企画も準備中です。

「旅、インバウンド、アウトバウンド、海外」等のキーワードで独立や週末起業や副業など検討の方向けに、その方面の識者や経験者などを講師に迎え、セミナーを企画してます。

皆様のご感想などもお待ちしております。ちょっとしたメモ程度でもかまいませんので、感じたこと気づいたことなどお送りください。

mailto:bralimagazine@gmail.com

<http://brali.net/toukou#.USgiYqW-2So>

次号予告（２０１３年１２月２５日発行予定）

次号予告（２０１３年１２月２５日発行予定）

■テーマ「二人旅」

■Brali Biz 「旅」×「ビジネス」

■HANGOVER in the WORLD

■特集 モロッコ

■エッセイ旅トキドキ・・・

■一本の糸で世界をつなぐチャリの旅

■自炊派の手料理

■エッセイたびたべ

■アジア漂流日記

■旅先の変な日本語

■トホホな話

■個人旅行のコモディティ

■（仮称）体験する旅

記事と情報および写真の募集要項

記事と情報および写真の募集要項

次回のBraliの発行予定は2013年12月25日です。

下記の記事や情報をお気軽にお寄せください。ご応募いただきました中から厳選して掲載させていただきます。

★記事および情報

■特集 モロッコ →2000字以内

■テーマ 「二人旅」→2000字以内 夫婦、恋人、友達、親子など。一人旅と違った旅の面白さや大変さ？一人旅より得なことや一人旅では得られないことなど。二人旅の勧め二人旅が羨ましい話など。

■（仮称）体験する旅 →Braliでは、観るだけや行くだけじゃなく体験する旅を推奨します。旅で体験したことを写真とともに記事にして送ってください。例えばスペインでシェリーの注ぎ方マスター、インドで綿の収穫、モンゴルで羊の乳搾り、カナダでメイプルシロップ作り、海外日系企業で職業体験などなど。こんな体験してきたけど、どう？って教えてください。2000字以内。

■個人旅行のコモディティ →なんだかパック旅行でもないのに均一化する個人旅行。旅人の数だけ旅があるはずなのに、なんだかみんな同じ旅してない？「語学留学」、「世界一周」、「旅ブログランキング」のいずれかの内容であなたの考えを記事にしてお送りください。2000字以内。

★写真

■Brali表紙用写真

特集の地域で撮影された写真を募集します。

★随時募集（掲載はいつになるかわかりません）

■旅で使えるデジタルアプリ →旅で役に立ったアプリを教えてください。

■HANGOVER in the WORLD →旅先での酒や酒場にまつわるショートコラムをお待ちしています。

■変な日本語→海外でよく目にする「変な日本語」。写真とどこで撮影したかを教えてください。

■海外支援団体などの団体さん、活動PRや支援募集などBraliに無料掲載いたします。取り組みなどのPRなどにご利用ください。

■海外ボランティアツアーや海外青年協力隊参加などの体験談を大募集しています。旅行では体験できないことや、秘話などをお待ちしています。

記事投稿および投稿に関するご質問はメールにてお願いします。

bralimagazine@gmail.com

投稿フォーム

<http://p.tl/Mi5K>

<http://bralimagazine.blogspot.jp/2011/11/blog-post.html>

奥付



Brali

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○Brali Circus イベントもブログの更新も旅に関することならなんでも拡散

<http://event.brali.net>

●Facebookページ

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

●NAVERまとめ

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

●mixiページ

<http://p.mixi.jp/brali>

●twitter

<https://twitter.com/bralinet> (Official)

<http://twitter.com/2moratorium>

【Braliの指針】

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。

また旅に出てみることで、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験が無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。

旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験してない人へは追体験をしてもらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組

みづくりを行ないBrailも社会に寄与します。

編集：くりはらのぶゆき

発行：くりはらのぶゆき